

2019年度 岐阜清流病院 看護部 BSC

目標 1.安全な看護に努めます 2.看護サービスの向上に努めます 3.やりがいの持てる職場づくりをします 4.病院経営に貢献します

	戦略目標	成果指標	KPIオーナー	目標値	前年度	行動計画	プロセス指標
顧客	患者満足の向上	苦情・クレーム投書件数	内木 青山 飯沼	10件以下	10件	①昨年度の内容を周知する ②看護部にきた投書を師長会で周知して必要に応じて検討会の実施 ③各部署で伝達し再発防止策を検討し実施する ④毎月、同様の苦情・クレームがないか確認する ⑤毎月、再発防止策と実施状況を確認する	①6月 通年
		ケアラウンドの評価率	各師長	全部署 最終月があがる	—	①前月の評価を翌月初めの師長会で報告しフィードバックする ②各部署の指摘された項目の改善策を報告する ③前回の指摘項目が改善されているかラウンド時に確認する	①8月～ ②8月～
	職員満足の向上	イベント参加率	安田 水谷 川地	70%以上	—	①未来会の企画 ②イベント希望内容のアンケート調査をする ③イベントを企画する ④各部署参加できるよう勤務調整を図る ⑤イベント参加後のアンケート調査をする	②6月 7月～12月 ⑤1月
		看護部新聞の発行数	各グループ担当者	各グループ 1回以上/年	—	①看護部新聞の掲載項目、発行月を師長会で検討する ②各グループで看護部新聞を発行する ③看護部新聞はスタッフルームに掲示する	①6月 通年
		離職率	各師長	新人0%以下 中途13%以下 在職8%以下	新人0% 中途13% 在職8%	①新人教育プログラムの実施 ②中途採用看護師支援プログラムの修正、活用(看護部・各部署) ③目標管理シートを基に期首、中間、期末に面談を行い進捗状況(ラダーを含む)を確認する ④スタッフの状況に応じて面談を適宜行う ⑤各個人の頑張ったことに対して承認(各部署、委員会) ⑥交流会の開催(未来、主任会)	通年
安全な看護の提供	事故レベル発生率	栗野 細野	転倒転落損傷率 0.09%以下 褥瘡発生率 1.57%以下	転倒転落損傷率 0.09% (8件) 褥瘡発生率 1.57%	①転倒転落、褥瘡予防に関するルールの周知徹底を図る ②ラウンド時にルールが守られているか、カンファレンス内容が看護計画が追加・修正出来ているか確認する ③リンクナースが活躍できるよう働きかける	通年	
財務	病床の有効利用	一般病棟の在院日数 回復期、療養、包括、緩和の稼働率	各師長	直近3ヶ月平均 21日以下 前年度より稼働率が あがる	一般: 20.55日 回復期:64% 療養:87.6% 包括:78.9% 緩和:73.6%	【一般病棟】 ①自部署の在院日数の把握をする(中間値も把握する) ②入院10日～14日で方向性のチームスタッフが再確認を行い退院調整室と連携する ③病床運営会議で情報共有を行い退院調整を行なう 【回復期、療養、包括、緩和】 ①師長は申し込み用紙の内容を確認する ②各部署との連携をとり、稼働率を上げるようにする ③医師への病床利用の協力依頼をする	通年
	コスト管理	各部署の取り組み達成率	各師長	100%	—	①各部署でテーマを選定する ②各部署の行動計画書を師長会で発表する ③各部署の行動計画に沿って実施する ④取り組み結果の発表会を実施する	①6月 ②6月26日 ③7月～ ④3月11日、25日
業務プロセス	看護の質の向上	カンファレンスの手引書の作成・周知率	長谷部 栞原	読み合わせ 100%	—	①カンファレンスの手引書の作成する ②カンファレンスの手引書の完成後に各部署内で読み合わせを行う ③リーダー会・主任副主任会で手引書の使用について説明会を行う ④カンファレンス実施時にカンファレンス手引書を使用する ⑤カンファレンス手引書の使用状況や意見をリーダー会、主任・副主任会で確認する	①9月 ②10月 ③10月 ④11月～ ⑤2月
		PNSチェック表使用率	各師長	最終月が 100%	—	①各部署でPNSの必要性を説明する ②各部署のPNSのチェック表を修正し師長会で承認する ③各部署でPNSの進め方の検討をする ④毎月の使用率・進捗状況を師長会で確認する	①6月 ②6月26日 ③7月～ ④8月～
		ケアラウンド表の修正	内木 青山 飯沼	修正	—	①6月中に修正し、師長会で提示し、7月より使用開始する。 ②ラウンド担当表を作成し、実施する。 ③対象6部署を月1回ラウンドする。	①6月中 ②7月～ ③7月～2月
	役割意識の向上	個人目標管理シートでの達成率	各師長	80%以上	—	①師長は個々に合わせた目標設定を支援指導する ②目標管理シートを基に期首、中間、期末に面談を行い進捗状況を確認する ③スタッフの状況に応じて部署ごと、もしくは看護部での面談を適宜行う	期首(7月) 中間(10月) 期末(2020年 4月)
	退院支援の充実	退院支援に関する発表会	井奈波 高田 藤森	開催	—	①事例をまとめる書式を作成する ②各部署で1人1事例をまとめて発表する ③退院支援委員会の場で各部署での優良事例を1例発表する	①6月 ②7月～ ③3月4日、3月24日
	安全文化の醸成	ルールを守る取り組み報告会(個人、部署)	栗野 細野	開催	—	①各部署でルールを守る取り組み内容を決定する ②各部署の行動計画を医療安全委員会で報告する ③各部署、行動計画に沿って実施する ④取り組み報告をする	①7月 ②通年 ③2月10日
学習と成長	退院支援の充実	学習会参加率	井奈波 高田 藤森	100%	—	①学習会で用いる事例を検討する ②学習会前に参加者へ事例を渡し、事前学習する ③9、10、11月に学習会を開催する(毎月3回程度、時間内) ④研修不参加には、部署内でリンクナースが研修を実施する	①6～8月 ②9～11月 ③9月2..4.24日 10月2.22.31日 11月5.6.22日
	アセスメント能力の向上	KYT研修参加率	栗野 細野	100%	—	①医療安全委員会主催でKYT研修会を実施する ②スタッフが参加できるよう勤務調整を行う ③研修不参加者には、部署内でリンクナースが研修を実施する	①10月 ②10月 ③12月まで
	接遇意識の向上	学習会参加率	内木 青山 飯沼	100%	—	①接遇担当者で研修内容・方法を検討する。 (師長会、主任会、チームリーダー会、補助者リーダー会、中央部門の部署会等で検討)	通年